

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	目指せ先輩！頼りになる2年生への道～『あしたへダッシュ』に向けて～（生活科）
学年	小学校第2学年
目標	学校探検やグリコードなど1年生と交流する活動を通して、1年時と現在の自分を比較し、自分自身が成長していることや様々な人が自分の成長を支えてくれていることに気付くとともに、これからの期待をもって意欲的に生活できるようにする。
教材タイプ	タンジブル
使用教材	グリコード
環境	学校所有のタブレット端末1人1台使用、1年生との交流ではペアで1台使用
都道府県	静岡県
実施校	菊川市立横地小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>実施日時：令和2年7月6日（月）</p> <p>①単元や題材などの学習内容について</p> <p>児童は3月初旬から約3ヶ月の臨時休業期間を家庭で過ごした。生活科を含めた1年間の自身の成長を振り返る活動は、例年と比較して十分でなかったといえる。</p> <p>本単元は生活科の内容「(9)自分の成長」を扱い、1年生と一緒に学校探検とグリコードを用いたプログラミング体験を行った。1年生との活動を通して自分の成長を振り返り、今後の生活に期待感をもてるようにした。</p> <p>②プログラミング体験、児童の様子について</p> <p>グリコードを扱うことでどの児童も簡単にプログラミング体験をすることができた。2年生が基本的な操作を習得してから1年生と活動することで、他学年とのつながりももつことができた。並べ方が正しくなくエラーになってしまった時には、「どうしたらいい?」「ここをこうするといいんだよ。」という対話が生まれ、思考しながら活動している様子が見られた。</p>
成果と課題	<p>成果：プログラミング体験を通して、生活科のねらいを達成することができた。</p> <p>課題：日頃から繰り返し操作に慣れていくことが必要である。</p>

